

平成 17 年度

## 労務関連実態把握調査結果報告 要旨

( 18 年 7 月 31 日 )  
《日本保温保冷工業協会労務委員会》

### 1. 調査対象

日本保温保冷工業協会会員の内、プラント関係 114 社、設備関係 264 社、計 378 社を対象として、平成 17 年 10 月末日の動員状況について調査した。尚、プラント・設備の両方に所属されている会員は、主とされる内容で区分し、調査に重複が生じないように調整を行った。

### 2. 回答数、回答率

回答会員数は、プラント関係 94 社、設備関係 207 社の合計 301 社で、回答率は 79.6% となった。前回の平成 15 年調査では、回答率 62% であったので、今回の回答数は大幅に向上している。

### 3. 従業員数、熱絶縁業務従事者数

全国回答の直接集計から、回答会員会社の社員数総合計は 7,798 名であり、その内、熱絶縁の業務にたずさわる方々は、4,694 名、その中で工事技能職員として業務に従事されている方々は 1,853 名となっている。

平成 15 年の調査では、回答会員会社の全従業員数 7,061 名、熱絶縁業務にたずさわる方々は、4,324 名、工事技能職員の方々は、1,289 名で、全体的な人数は回答率が上がったこともあり、増加している。

### 4. 会員の自社技能職員数、協力会社技能職員数

会員の工事技能職員数は 1,853 名、会員傘下にある協力業者の工事技能職員数は 14,074 名で、合計は 15,927 名であり、構成比率は 11.6% 対 88.4% となっている。15,927 名の職種別技能員数は、つぎのとおりとなっている。

保温	8,463 名 (53.14%)
板金	3,078 名 (19.33%)
保温・板金兼務	2,471 名 (15.51%)
他 (溶接、塗装、足場等)	1,915 名 (12.02%)

15 年調査では会員の工事技能職員数 1,289 名、協力業者の工事技能職員数 12,002 名、合計 13,291 名であり、構成比率は 9.7% 対 90.3% となっていた。

### 5. 熱絶縁技能士

保温、板金、保温板金の技能者合計 14,012 名の内、熱絶縁技能士の資格取得者は、つぎのとおりとなっている。

1 級	2,676 名 (19.10%)
2 級	776 名 (5.54%)
合計	3,452 名 (24.64%)

### 6. 外国人労働者数

外国人労働者数は保温のみ 13 名となっている。

以上

上記は調査結果報告書最終版の要旨を記したのですが、5月18日掲載の記事に対して集計数値の一部と語句の一部を、若干変更しておりますのでご了承ください。